
消えない痣

伊藤響

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

消えない痣

【コード】

N0028C

【作者名】

伊藤響

【あらすじ】

今、社会問題となってるいじめについての話です。いじめられていた子がいじめをする子に変わる。

(前書き)

よかったら読んでみてください。

今、地球上にいくつ学校があるのだから。

その学校の数だけ

「いじめ」がある。

決して抜け出せない奈落の穴だ。

僕は今年で小学六年生になる。

ある日、僕はいじめられた。いじめてくるのは僕の席の回りの人達。なんで僕をいじめてくるんだらう。

五年生の時は普通に僕と話してたじゃないか。

そしてある日、授業で使う道具が取られた。

「返せよ」と僕は少し強気で言った。

しかし、相手は全然返してくれない。

僕は友達に助けを頼んだ。友達はにやけながら

「頑張れ」と言った。

僕は最後の手段で先生に言った。

しかし先生は

「自分でなんとかしなさい」と言った。僕は怒りと憎しみでいっぱいになった。

その日の放課後、教室に誰もいなくなった時に取られた道具を取り返し、家に持ち帰った。

次の日、いじめっこ達はないことにきずいた。

僕は

「返せよ」と言った。自分で持つてるのにあいつらのせいにした。

「なくした」あいつらは言った。

「なくしたじゃねえよ。弁償しろよ。」

相手は縮こまった。

この日以来、僕はいじめっこに変わった。
そして、これから仕返が始まる。
まずはこのクラスでトップをとる。
悪そうな奴は仲間にして、反抗した奴はぶっ飛ばそう。
僕は数日でトップに立った。
むかつく奴は殴る。
なんて気持ちいいんだろう。
そして次第にターゲットは先生になった。
授業に反抗したり、給食にゴキブリを入れたり、机をグチャグチャにしたりした。
悪い事はたくさんした。
オレだけ家庭訪問は二回あった。
そして、先生はノイローゼとなり学校に来なくなった。
次に学校に来たのは卒業式の日だけだった。
先生が来ない間には、数人で女を殴ったり、蹴ったりして何針か縫わせた。
それはすごい問題となり、校長室に呼ばれた。
そしてオレ達はその女に謝った。
でもそれに懲りてはいなかった。
ずっと卒業するまで色々な人をいじめた。
これは仕返なんだ。
オレはただ仕返をしただけなんだ。
と思いつけた。
このいじめは終わらない。
いつあなたがいじめられてもおかしくはありません。自分の身は自分で守るしかないので。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0028c/>

消えない痣

2010年10月12日00時34分発行